

才能を生かそう

才能を生かす

今日のたとえによると、才能の多い少ないにかかわらず、それぞれの人が、自分に与えられた才能をいか
に生かすことができたかが問われています。自分には
才能がないと言っ
てあきらめてしまっ
てはいけ
ない
のです。たとえ、結果として、才能のある人とくらべ
て、たいしたことができなくても、どれだけ努力した
かが問われるのです。

才能のある人が、努力もしないで得た結果がたく

さんあったとしても、それはほめられる内容ではあり

ません。才能のある人とくらべて、十分の一しか才能

がなくても、才能のある人の結果の十分の一以上あ

ればほめられるべきものです。

自分にはどんな才能があるか書いて下さい。

可能性を信じる

人は自分だけでなく、人に対しても、あいつはだめな人間だと言っいてあきらめてしまう傾向があります。

回りがあきらめた見方をしてしまうと、本人も自分はどうせたいしたことがない人間だと思おもいこんでしまいます。

そうではなく、自分に対しても、相手に対しても、常にいろんなことができる可能性を信しんじるべきです。自分も人もこのぐらいの才能さいのうしかないんだと思おもわないで、もつともつといろんなことができる可能性を信しんじるべきです。

そのためには、自分の努力も必要ですが、同時に、

回りの人たちの努力も必要です。自分にいい面を持つもていても、本人はなかなか気づかないものです。それを回りの人が評価していったときに、本人にとってとても大きな自信になります。お互いが成長できるように、お互いが変わることができかる可能性を信しんじていきましよう。

